

経営比較分析表（平成30年度決算）

岡山県地方独立行政法人岡山県精神科医療センター 地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	精神科病院	精神病院	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	2	-	-	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	17,880	非該当	13:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン（放射線）診療

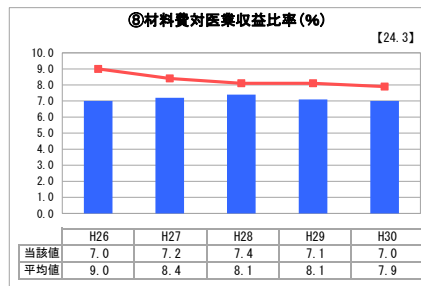
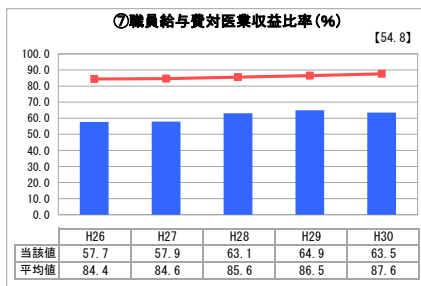
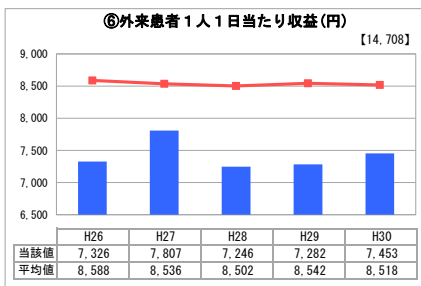
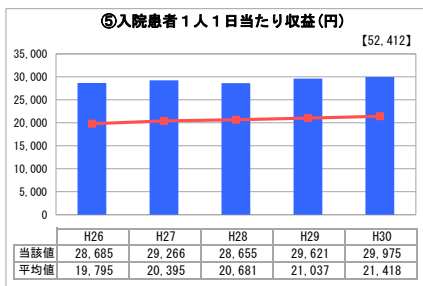
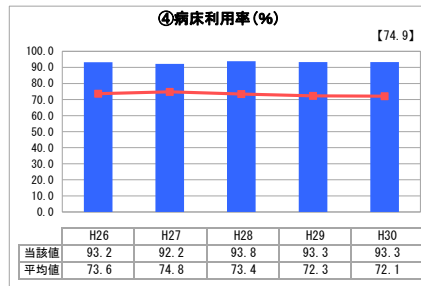
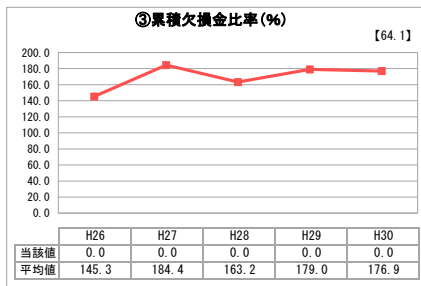
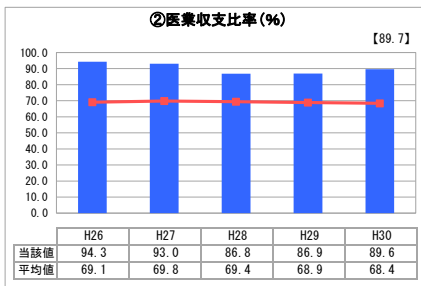
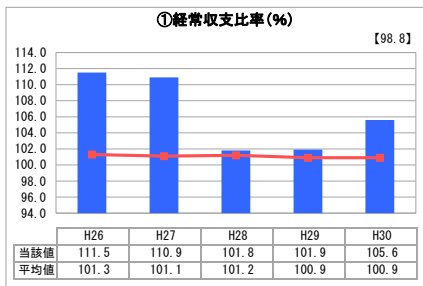
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
-	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
252	-	252
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
-	-	-

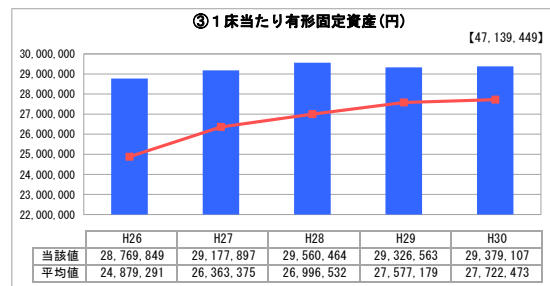
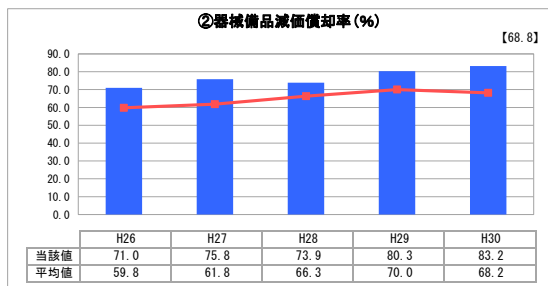
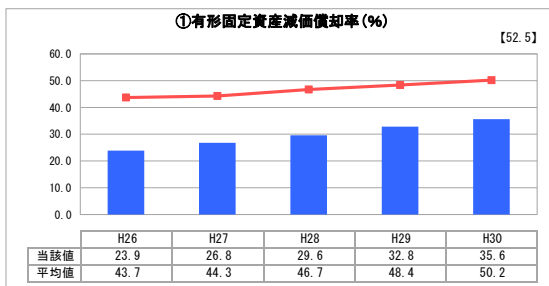
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	平成19年度	- 年度

I 地域において担っている役割

精神科救急医療において24時間365日の救急対応を実施し、県内で中心的な役割を担っているほか、医療従事者の手厚い配置が必要である児童・思春期精神科医療、高い専門性が求められるアルコール・薬物・ギャンブル等依存症医療等の民間では対応が難しい複雑困難ケースにも対応している。また、公的病院が設置することとされている司法精神入院棟の運営など、公的機関としての役割を果たしながら、他機関とも連携し、県内精神科医療の中核病院として、地域に根ざした良質で高度な精神科医療の向上を図っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は100%を超え、医業収支比率も類似病院平均値（以下「平均値」という。）と比べて高い状況で、累積欠損金比率も0が続いており、財務状況は健全である。

これは、病床利用率が高く施設を有効に活用でき、入院患者1人1日当たり収益が平均値と比較しても高いこと、一方、職員給与費対医業収益比率や材料費対医業収支比率は平均値と比較して低く、効率的な経営が行われていることが要因として考えられる。なお、外来患者1人1日当たり収益が平均値に比べ低いのは、地域連携での役割分担の推進が要因として考えられる。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率が平均値と比較して低いが、これは平成15年に病棟を改築（一部18、19年改築）しており、比較的建物が新しいことが要因と考えられる。一方、器械備品減価償却率は徐々に高まっていることから、医療器械備品の老朽化が進んできていると考えられる。

全体総括

経常収支比率は100%を超え、医業収支比率も高い水準を維持していることから、財務状況は健全であり、安定した病院経営が行われている。

引き続き、県内の中核病院としての役割を果たしながら、効率的な運営を行うとともに、医療器械備品等の計画的な更新を進めていく必要がある。